

中学校

		2年	3年
学 校 数		345校	347校
教 科	国 語	58,556人	55,798人
	社 会	58,591人	55,843人
	数 学	58,549人	55,779人
	理 科	58,586人	55,843人
	英 語	58,077人	50,922人

(3) 平均点, 標準偏差

小学校

学 年	教 科	本 県 平均点	標 準 偏 差	全 国 平均点	標 準 偏 差
5年	社 会	53.6	21.2	58.8	20.8
	理 科	60.0	18.0	64.0	17.2
6年	社 会	53.2	18.8	56.0	17.9
	理 科	55.2	20.4	58.0	16.3

中学校

学 年	教 科	本 県 平均点	標 準 偏 差	全 国 平均点	標 準 偏 差
2年	国 語	49.5	18.5	54.8	19.4
	社 会	52.8	20.0	57.0	20.2
	数 学	35.5	18.3	41.3	20.0
	理 科	38.5	14.3	41.8	15.8
	英 語	51.0	20.0	58.5	21.5
3年	国 語	52.3	18.8	56.5	19.2
	社 会	41.0	18.8	44.5	18.3
	数 学	38.5	18.5	44.5	20.3
	理 科	43.3	14.5	46.8	15.8
	英 語	49.3	20.8	56.8	22.2

(4) 昭和31年度よりの推移 (学力偏差値)

小学校

		31年 度	32年 度	33年 度	34年 度	35年 度	36年 度	37年 度	38年 度
5年	国 語	—	—	—	—	—	—	47.5	—
	算 数	—	—	—	—	—	—	47.2	—
	社 会	—	—	—	—	—	—	—	47.5
	理 科	—	—	—	—	—	—	—	47.7
6年	国 語	48.8	—	—	46.5	—	46.6	47.0	—
	算 数	48.1	—	—	47.0	—	46.4	48.1	—
	社 会	—	46.8	—	—	48.1	—	—	48.4
	理 科	—	46.6	—	—	49.0	—	—	48.3

中学校

		31年 度	32年 度	33年 度	34年 度	35年 度	36年 度	37年 度	38年 度
2年	国 語	—	—	—	—	—	46.5	46.7	47.3
	社 会	—	—	—	—	—	46.5	47.6	47.9
	数 学	—	—	—	—	—	46.4	46.6	47.1
	理 科	—	—	—	—	—	47.2	47.9	47.9
	英 語	—	—	—	—	—	46.1	47.0	46.5
3年	国 語	46.6	—	—	46.9	—	46.3	46.7	47.8
	社 会	—	47.4	—	—	46.6	47.1	47.8	48.1
	数 学	45.1	—	—	47.8	—	46.2	46.8	47.0
	理 科	—	46.4	—	—	47.2	46.8	47.1	47.8
	英 語	—	—	—	—	—	46.0	47.0	46.6

昭和31年度以降全国学力調査が実施されてきているが、その結果をたどりながら学力偏差値によって全国にしめる本県の位置づけの推移をみると

(1) 小学校第6学年の社会, 理科は

32年の46台から、38年は48台になり全国的な位置づけはやや向上している。しかし、35年度と比較してみると38年度はほぼ同じ位置にあるといえる。

(2) 中学校第2学年について5教科平均をみると

36年度は 46.5

37年度は 47.2

38年度は 47.3 となっており

36年度に比しては、やや全国的な位置づけが上向きであるが、37年度とくらべると横ばいである。

(3) 中学校第3学年の5教科平均をみると

36年度は 46.5

37年度は 47.1

38年度は 47.5 となっており

36年度に比して、やや全国的な位置づけは上向きであるが、37年度とくらべると横ばいである。

なお詳細については、報告書として、紀要46、「学力調査報告書～統計編～」を発刊して、それぞれの立場での利用活用供した。

### 第3節 教育研究

昭和38年度に研究係として、研究または実施した事業とその内容は次のとおりである。

(1) 研 究

- ① 望ましい学習指導法の組織化
- ② プログラムを用いた学習指導法の研究
- ③ 学力の学校差の要因の研究
- ④ 全国学力調査結果の分析研究
- ⑤ 診断的性格を帯びた福島県標準学力検査問題の作成
- ⑥ 全国教育研究所連盟の共同研究